

平成29年6月29日

東筑摩塩尻PTA連合会長 様

松塩筑地区教育研究集会企画委員長 福澤 章行

平成29年度 松塩筑地区教育研究集会 分科会参加についてのご案内

初夏の候、貴会におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

例年、PTAの皆様方には松塩筑地区教育研究集会にご協力・ご参加をいただき、教育研究集会を盛り上げていただいておりますことを感謝申し上げます。

本年度も9月2日（土）に、塩尻市立塩尻中学校・塩尻西部中学校・丘中学校・広陵中学校・桔梗小学校・広丘小学校を会場として、松塩筑地区教育研究集会を開催することになりました。教育研究集会をより広い立場でとらえ、有意義なものとするために、本年度もご協力をお願いいたします。

つきましては、下記の5分科会に、貴会におきまして各3名（計15名）以上参加していただきますよう、ご協力をお願いいたします。ご多用のところ恐縮ですが、より多くの参加の呼びかけをよろしくお願いいたします。

記

1. 本年度の大会テーマ 「豊かな心を育み、確かな力を身につけ、共に生きようとする子ども」
2. 参加をお願いしたい分科会と本年度のテーマ
 - 「進路指導」
 - ・自己理解に基づき、自己実現を果たすための進路指導のあり方
 - 「図書館教育」
 - ・子どもと図書館をつなぐ
 - 「食教育」
 - ・子どもたちの食に対する意識を高めるための指導及び学校・家庭の連携はどうあったらよいか
 - 「これからの学校づくり（保護者・地域・学校の連携）」
 - ・保護者・地域・学校の連携や協働などによる学校づくりはどうあったらよいか
 - 「総合的な学習の時間」
 - ・主体的に自己の課題を解決していく総合的な学習の時間
3. 当日の日程

受付	8:30～	8:55
開会式（放送）	9:00～	9:15
分科会	9:15～	11:40
指導	11:40～	12:00
閉会式（放送）	12:00～	12:10
4. 参加者名簿提出期限 **7月13日（木）必着**
5. お問い合わせ・提出先
お申し込みは、下記へ郵送・FAX・メールのいずれかをお願いいたします。

〒390-0876	松本市開智2-3-28	東筑摩塩尻教育会館内
	松塩筑地区教育研究集会事務局	中島 洋
Tel :	0263-32-3220	Fax : 0263-36-2365
	Mail :	syoen@avis.ne.jp

平成29年度 松塩筑地区教育研究集会参加申し込み票

※レポート・要項等を直接ご自宅へ郵送させていただく関係上、郵便番号・住所についてもご記入下さい。

※ご多用のところ恐縮ですが **7月13日(木) 必着** をお願いいたします。

PTA 連合会

参加分科会名	参加者氏名	所属校名	〒番号	自宅住所
進路指導		P T A		
進路指導		P T A		
進路指導		P T A		
図書館教育		P T A		
図書館教育		P T A		
図書館教育		P T A		
食教育		P T A		
食教育		P T A		
食教育		P T A		
これからの学校づくり		P T A		
これからの学校づくり		P T A		
これからの学校づくり		P T A		
総合的な学習の時間		P T A		
総合的な学習の時間		P T A		
総合的な学習の時間		P T A		
		P T A		
		P T A		
		P T A		
		P T A		

*FAX で送る場合は、このまま FAX してください。(送付書不要)

分科会テーマ・討議の柱・内容が決まってきました

6月26日(月)に、司会者と運営委員との打ち合わせ会が行われ、各分科会のテーマ・討議の柱・内容などを決めていただきました。まだ仮決定の分科会もあり変更の可能性もありますが、現時点での決定事項をお知らせいたします。

以下の<平成29年度松塩筑地区教研集会 分科会テーマ・協議の柱内容一覧表>をご覧ください。参加分科会を決定してください。(※参加分科会の集約につきましては、各職場の教研職場担当者をお願いしてあります。)

尚、分科会が行われます会場、分科会の内容の未定部分の詳細につきましては、7月下旬に発送されます「教研ニュース第3号」、8月下旬に発送されます「教研ニュース第4号」にてお知らせいたします。

<平成29年度松塩筑地区教研集会 分科会テーマ・討議の柱・内容一覧表> (6月29日現在)

No	分科会名	テーマ	討議の柱	講師及び実技内容・備考・連絡など
1A	国語科教育A	○豊かな表現力を育む国語科の指導のあり方	○自分の考えを相手に分かりやすく伝えるための指導のあり方	なし
1B	国語科教育B	○子どもたちが上達したと実感できる書写指導のあり方	○子どもたちが上達したと実感できる書写指導のあり方	中学校書写(行書) 小学校書写(楷書) それぞれの指導の仕方について実技指導を行っていただく。 <講師予定> 大澤一仁先生 (松本城ヶ崎高等学校)
2A	社会科教育A	○児童・生徒が興味・関心を持ち、主体的に学ぶ社会科学習のあり方	○子どもたちが興味・関心をもって学習するための素材の教材化について	なし
2B	社会科教育B	○確かな社会認識をつかむための社会科学習のあり方	○友の考えや、これまで学んだことを関連づけて社会事象を自分の考えとして表現するための手だてについて	なし
3A	算数・数学科教育A	○基礎基本の定着を目指し、学ぶことの楽しさや、充実感が味わえる指導のあり方	○友と考えを共有したり、主体的に追究したりする授業のあり方(ペア、グループ学習など)	プリント作成ソフトの紹介(講師未定)

3B	算数・数学科 教育B	○基礎基本の定着を目指し、学ぶことの楽しさや、充実感が味わえる指導のあり方	○子どもたちが主体的に学びながら、「わかる」「できる」喜びを感じ、学びを深めることができる算数数学教育	なし
4A	理科 教育A	○子どもも教師も夢中になれる中学校理科	○子どもが夢中になった場面と、それはなぜ起きたのか ○子どもの笑顔を引き出した教材	業者による実験講習会
4B	理科 教育B	○子どもも教師も夢中になれる小学校理科	○子どもが夢中になった場面と、それはなぜ起きたのか ○子どもの笑顔を引き出した教材	業者による実験講習会
5	生活科 教育	○活動や体験を通して人やものやことのかかわりを深め、気づきを高めていく子どもをどう育てたらよいか	○子どもたちが人やものやことへの思いや願いを生き生きと表現するための支援のあり方 ○子どもが自分のよさに気づくための場の設定や支援のあり方	未定 (秋の工作など)
6	幼年 教育	○子どもたちの学びや育ちのつながりを大切にしたい幼保小の連携はどうあったらよいか	○地域性を生かした幼保小の連携や異年齢交流のあり方	・身近な材料を使ったおもちゃ作り ・手遊び工作など (おぼっこぼっこの方に依頼する予定)
7	音楽科 教育	○音楽の良さを感じ取りながら、豊かな感性を育む音楽科教育。	○曲に寄せる自分の思いと音楽的要素を結びつけ、表現を深めたり、味わって鑑賞したりするための工夫のあり方 ○音楽の楽しさを感じられる音楽指導のあり方(日頃の具体的な実践・取り組みを持ち寄って)	・各校の実践を持ち寄り情報交換(音楽集会の運営)音楽集会の実践事例をA4一枚程度にまとめご持参ください。 ・講師の先生による講習会
8	図工・美術科 教育	○素材と関わる中で、つくる喜びを味わう造形活動と鑑賞活動	○つくる喜びを味わう造形活動 ○個の願いにそった絵画指導のあり方	レポート数が少ない場合は実技講習を検討する。 <講師予定> 黒澤 増博 先生 (塩尻市教育センター)
9A	保健体育科 教育A	○すべての子どもたちが自ら運動の楽しさを味わい、深めていくにはどうしたらよいか	○運動の特性にふれた楽しさを味わいながら、自己の力を伸ばすための指導・支援のあり方	AB合同での実技講習(講師未定) 実技ができる服装での参加をお願いします。
9B	保健体育科 教育B	○すべての子どもたちが自ら運動の楽しさを味わい、深めていくにはどうしたらよいか	○友と関わりながら主体的に学びを深めていくための指導・支援	
10	技術科 教育	○生徒に創意工夫の力をつけるための指導はどうあったらよいか	○実践例を持ち寄り意見交換。各題材で、創意工夫の指導はどのように行っているか ○日頃の実践上の悩み、工夫していること、大事にしていることの見聞交換	講師を招いての教材研究

11	家庭科 教育	○友とかかわりながら生き 生きと工夫創造する生 徒の育成はどうあったら よいか	○自らの家庭生活の課題に気が付き、 それらを意欲的に解決していくため の指導のあり方 ○友や地域の方々との語り合いので きる場面設定のもち方	わさびゼリーの調理 ＜講師予定＞ 丸山 貴子 先生 (安曇小中) ※材料費300～40 0円がかかります ので、当日の 欠 席が無いようにお 願います。 ＜持ち物＞ タッパ―・エプロン 三角巾・マスク タオル
12A	外国語・ 国際理解 教育A	○児童生徒が生き生きと 英語を用いて言語活動 に取り組むための指導の あり方	○自分の考えや気持ちを伝え合う言 語活動のあり方 ～支え合い学習を通して～ ○小学校外国語活動での工夫	なし
12B	外国語・ 国際理解 教育B	○児童生徒が生き生きと 英語を用いて言語活動 に取り組むための指導の あり方	○自分の考えや気持ちを伝えあう言 語活動のあり方 ～話す力を高める日々の授業とは～	なし
13	道徳 教育	○友との関わり合いの中 で、自己を見つめ道徳 的価値の自覚を深める ための支援のあり方	○道徳の教科化に関わって(考え、議 論する道徳及び評価について) ○自己を見つめるための授業展開、 教材化の工夫 ○子どもたちが互いに道徳的価値観 を語り合うための教師の出(発問、 問い返し) ○自己の生き方を見つめる振り返りの 場について	未定
14	特別 活動	○共に支え、関わり合う特 別活動はどうあったらよ いか	○児童・生徒が、友と支えあい認め 合える活動のあり方 ～組体操づくり、部活動運営、 中学校における人間関係づくり～	講習を 検討中
15	人権 教育	○互いに認め合い、よりよ い人間関係を育成する ための人権教育のあり 方	○偏見、差別意識を取り除き、他者 理解や個の伸長を深める支援のあ り方	なし
16	生徒 指導	○問題行動(傾向)・不登 校(傾向)児童・生徒の 実態をふまえた指導のあ り方はどうあったらよいか	○職員間の連携・学校全体の情報 共有・外部機関や家庭との連携	検討中
17	進路 指導	○自己理解に基づき、自 己実現を果たすための 進路指導のあり方	○平成 28 年度入試結果からの今後 の指導、支援 ○三年間を見通した進路指導のあり 方 ○キャリア教育や職場体験学習を実 施するにあたっての工夫(情報交換 会)	各校で職場体験学 習を進める時に用 いている学習カード や資料などをお持ち ください。

18	健康教育	○健康教育をどのように推進していったらよいか	○子どもたちが自分の心身に関心を持ち、健康に対する意識を高めるための指導のあり方	最新の健康教育について(講師未定)
19	視聴覚・情報教育	○情報モラルを育てていくための指導のあり方	○学習の道具の一つとしてのICT機器の活用のあり方	検討中
20	図書館教育	○子どもと図書館をつなぐ	○子どもが本に興味をもてるような読書指導	検討中
21A	特別支援教育A	○通常学級における特別な支援を必要とする児童が安定安心して意欲的に学習に取り組めるための支援はどうあったらよいか	○LDなど通級指導教室での指導のあり方 ○交流学习における指導、支援	なし
21B	特別支援教育B	○特別支援学級において、自己肯定感を育むための支援はどうあったらよいか	○自己肯定感を育むための支援 ○生活単元学習・自立活動の工夫 ○原学級との関わりの工夫	なし
22	食教育	○子どもたちの食に対する意識を高めるための指導及び学校・家庭の連携はどうあったらよいか	○各校の食指導の取り組み ○学校・家庭を含めた今の食教育の課題	検討中
23	教育条件整備	○子どもの学習権を保障するための教育条件整備はどうあったらよいか	○どの子どもも安心して学校生活を送れるための環境づくり	なし ※レポーターを募集しています。
24	これからの学校づくり (保護者・地域・学校の連携)	○保護者・地域・学校の連携や協働などによる学校づくりはどうあったらよいか	○各校の信州型コミュニティ・スクールの取り組みの様子と課題	「学校にとっての信州型コミュニティ・スクールと保護者・地域にとっての信州型コミュニティ・スクール」(仮) (講師未定)
25	総合的な学習の時間	○主体的に自己の課題を解決していく総合的な学習の時間	○相手意識を大切にした活動のあり方 ○子どもたちが主体的に取り組む活動のあり方 ○互いに協力し、友のよさを認め合う活動のあり方	なし

大勢の方のご参加をお待ちしています！

※教研職場担当者の方はお手数ですが、参加者の取りまとめをお願いいたします。各校にメールにて送付いたしました「参加希望用紙(メール配信用)」に入力をしていただき、メールに添付して事務局(syoen@avis.ne.jp)に返信をお願いします。
参加者希望名簿の提出締切は7/13(木)17:00までです。